

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	サンモードスクールオブデザイン
設置者名	学校法人 白銀学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	スタリスト学科	夜・通信	210	160	
	アパレル工学科	夜・通信	280	240	
	アパレルデザイン学科	夜・通信	420	320	
	和裁士学科	夜・通信	420	240	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://smsd.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	サンモードスクールオブデザイン
設置者名	学校法人 白銀学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務室に「理事一覧表」を備え付けて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社員	R6. 3. 25～R10. 3. 24	組織運営体制のチェック
非常勤	病院医師	R6. 3. 25～R10. 3. 24	組織運営体制のチェック
(備考) 学外者の人数3名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	サンモードスクールオブデザイン
設置者名	学校法人 白銀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教師が毎年2月頃作成し、予め選定された確認者が各科目のシラバスを3月頃チェックし、問題なければ校長の「承認」。指摘事項が発生した場合は、「差し戻し」となります。(シラバスの第三者チェック) ・授業の内容(授業の概要) ・授業の方法(講義・実習の別) ・授業のねらい ・目標 ・年間の授業の計画(授業の回数やスケジュール) ・予習・復習の内容 ・フィードバックの方法 ・成績評価の方法・基準 ・教科書及び参考文献 ・オフィスアワー(出来るだけ曜日・時間帯・場所など) 実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨記載 ・備考(授業の注意点) ・科目ごとのシラバスは、ホームページ(毎年4月より)に公開。 	
授業計画書の公表方法	http://smsd.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準のとおり、厳格かつ適正に各授業科目の学習成果の評価を行い、これに基づき履修の認定を行う。担当教員の主観ではなく、学生にあらかじめ示した客観的な方法・基準に基づき判定を行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 本校服飾専門過程の履修科目のシラバスに定める成績評価に与えられるGPは、次表の通りとする。

合否区分	評価	評価点	GP
合格	秀	100点～90点	4.0
	優	89点～80点	3.0
	良	79点～70点	2.0
	可	69点～60点	1.0
不合格	不可	59点以下	0.0

(GPAの算出方法)

授業科目の成績評価を点数化し、全授業科目の合計点の平均を算出する。

(100点満点で点数化) GPAは次のようにして算出しています。

$$GPA = \frac{(\text{授業科目のGP} \times \text{授業時数})\text{の合計}}{\text{全課程の修了に必要な全授業科目の授業時数の合計}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

事務室に「成績算出方法(GPA制度)」を備え付け公表

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校服飾専門課程を卒業するための要件(ディプロマ・ポリシー)は、次のとおりです。

1. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、各学科の所定の修業年限を満たし各学科の修行に必要な総時間数に加え、卒業研究に合格することを卒業の要件とします。

2. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、スタイリスト学科、アパレル工学科アパレルデザイン学科、和裁士学科の4学科を置き、設立者長谷川安津子建学の理念を体し特殊技能に必要な能力を育成します。具体的には、ファッション分野における専門家等を輩出することを目的とし、次に掲げる能力を習得した者に、専門士を授与する。

- ① 専攻する学科における専門的技術・知識
- ② ファッション分野の専門家に必要な基礎知識や理論
- ③ 地域社会で活動するために必要な能力
- ④ 地域社会で活動するためのコミュニケーション能力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://smsd.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	サンモードスクールオブデザイン
設置者名	学校法人 白銀学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室に「財務報告書」を備え付けて公表
収支計算書又は損益計算書	事務室に「財務報告書」を備え付けて公表
財産目録	事務室に「財務報告書」を備え付けて公表
事業報告書	事務室に「財務報告書」を備え付けて公表
監事による監査報告（書）	事務室に「財務報告書」を備え付けて公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
家政関係		服飾専門課程	スタイリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2415 単位時間	600 単位時間	- 単位時間	1815 単位時間	- 単位時間	- 単位時間
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		0人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）授業計画書（シラバス）の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教師が毎年2月頃作成し、予め選定された確認者が各科目のシラバスを3月頃チェックし、問題なければ校長の「承認」。指摘事項が発生した場合は、「差し戻し」となります。（シラバスの第三者チェック） ・授業の内容（授業の概要） ・授業の方法（講義・実習の別） ・授業のねらい ・目標 ・年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール） ・予習・復習の内容 ・フィードバックの方法 ・成績評価の方法・基準 ・教科書及び参考文献 ・オフィスアワー（出来るだけ曜日・時間帯・場所など） 実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨記載 ・備考（授業の注意点） ・科目ごとのシラバスは、ホームページ（毎年4月より）に公開。

成績評価の基準・方法			
(概要) 本校服飾専門過程の履修科目のシラバスに定める成績評価に与えられるG Pは、次表の通りとする。			
可否区分	評 価	評価点	G P
合格	秀	100点～90点	4.0
	優	89点～80点	3.0
	良	79点～70点	2.0
	可	69点～60点	1.0
不合格	不可	59点以下	0.0
(G P Aの算出方法) 授業科目の成績評価を点数化し、全授業科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) G P Aは次のようにして算出しています。 $G P A = \frac{(\text{授業科目のG P} \times \text{授業時数})\text{の合計}}{\text{全課程の修了に必要な全授業科目の授業時数の合計}}$			
卒業・進級の認定基準			
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校服飾専門課程を卒業するための要件(ディプロマ・ポリシー)は、次のとおりです。 1. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、スタイリスト学科の所定の修業年限を満たし修行に必要な総時間数に加え、卒業研究に合格することを卒業の要件とします。 2. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程スタイリスト学科を置き、設立者長谷川安津子建学の理念を体し特殊技能に必要な能力を育成します。具体的には、ファッション分野における専門家等を輩出することを目的とし、次に掲げる能力を習得した者に、専門士を授与する。 ① 専攻する学科における専門的技術・知識 ② ファッション分野の専門家に必要な基礎知識や理論 ③ 地域社会で活動するために必要な能力 ④ 地域社会で活動するためのコミュニケーション能力			
学修支援等			
(概要) クラス担任により個人面談・保護者との3者面談を行う。			

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (%)	1人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) (株)サンミシェルトキワ、(有)ファッション工房黒石、アパレル業界			
(就職指導内容) 就職対策(一般教育科目)で年間を通して、個別指導を行う。			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ドレメ式洋裁教員認定証、全日本服装学校教員資格、洋裁2級、洋裁3級、色彩能力3級、ファッション販売能力3級、ブライダルファッションプランナー認定証 (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
家政関係		服飾専門課程	アパレル工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3 3 2 5 単位時間	8 7 5 単位時間	- 単位時間	2450 単位時間	- 単位時間	- 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		6人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）授業計画書(シラバス)の作成過程

・担当教師が毎年2月頃作成し、予め選定された確認者が各科目のシラバスを3月頃チェックし、問題なければ校長の「承認」。指摘事項が発生した場合は、「差し戻し」となります。

（シラバスの第三者チェック）

- ・授業の内容（授業の概要）
- ・授業の方法（講義・実習の別）
- ・授業のねらい
- ・目標
- ・年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール）
- ・予習・復習の内容
- ・フィードバックの方法
- ・成績評価の方法・基準
- ・教科書及び参考文献
- ・オフィスアワー（出来るだけ曜日・時間帯・場所など）
実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨記載
- ・備考（授業の注意点）
- ・科目ごとのシラバスは、ホームページ（毎年4月より）に公開。

成績評価の基準・方法

（概要）

本校服飾専門過程の履修科目のシラバスに定める成績評価に与えられるGPは、次表の通りとする。

可否区分	評価	評価点	GP
合 格	秀	100点～90点	4.0
	優	89点～80点	3.0
	良	79点～70点	2.0
	可	69点～60点	1.0
不合格	不可	59点以下	0.0

（GPAの算出方法）

授業科目の成績評価を点数化し、全授業科目の合計点の平均を算出する。

（100点満点で点数化）GPAは次のようにして算出しています。

$$GPA = \frac{\text{（授業科目のGP} \times \text{授業時数）の合計}}{\text{全課程の修了に必要な全授業科目の授業時数の合計}}$$

卒業・進級の認定基準
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校服飾専門課程を卒業するための要件(ディプロマ・ポリシー)は、次のとおりです。 1. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、アパレル工学科の所定の修業年限を満たし修行に必要な総時間数に加え、卒業研究に合格することを卒業の要件とします。 2. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程アパレル工学科を置き、設立者長谷川安津子建学の理念を体し特殊技能に必要な能力を育成します。具体的には、ファッション分野における専門家等を輩出することを目的とし、次に掲げる能力を習得した者に、専門士を授与する。 ① 専攻する学科における専門的技術・知識 ② ファッション分野の専門家に必要な基礎知識や理論 ③ 地域社会で活動するために必要な能力 ④ 地域社会で活動するためのコミュニケーション能力
学修支援等
(概要) クラス担任により個人面談・保護者との3者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (%)	1人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) (株)サンミシェルトキワ、(有)ファッション工房黒石、アパレル業界			
(就職指導内容) 就職対策(一般教育科目)で年間を通して、個別指導を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ドレメ式洋裁教員認定証、全日本服装学校教員資格、パターンメイキング3級、洋裁1級、洋裁2級、洋裁3級、色彩能力3級、ファッション販売能力3級、ブライダルファッションプランナー認定証			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士																						
家政関係		服飾専門課程	アパレルデザイン学科	○																							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類																								
			講義	演習	実習	実験	実技																				
4年	昼	4 2 3 5 単位時間	1 0 9 5 単位時間	- 単位時間	3 1 4 0 単位時間	- 単位時間	- 単位時間																				
			単位時間/単位																								
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
1 2 0 人		4 人	0 人	3 人	1 人	4 人																					
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																											
<p>（概要）授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教師が毎年2月頃作成し、予め選定された確認者が各科目のシラバスを3月頃チェックし、問題なければ校長の「承認」。指摘事項が発生した場合は、「差し戻し」となります。（シラバスの第三者チェック） ・授業の内容（授業の概要） ・授業の方法（講義・実習の別） ・授業のねらい ・目標 ・年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール） ・予習・復習の内容 ・フィードバックの方法 ・成績評価の方法・基準 ・教科書及び参考文献 ・オフィスアワー（出来るだけ曜日・時間帯・場所など） 実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨記載 ・備考（授業の注意点） ・科目ごとのシラバスは、ホームページ（毎年4月より）に公開。 																											
成績評価の基準・方法																											
<p>（概要）</p> <p>本校服飾専門過程の履修科目のシラバスに定める成績評価に与えられるG Pは、次表の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可否区分</th> <th>評 価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>秀</td> <td>1 0 0 点～9 0 点</td> <td>4 . 0</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>8 9 点～8 0 点</td> <td>3 . 0</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>7 9 点～7 0 点</td> <td>2 . 0</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>6 9 点～6 0 点</td> <td>1 . 0</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>不可</td> <td>5 9 点以下</td> <td>0 . 0</td> </tr> </tbody> </table> <p>（G P Aの算出方法）</p> <p>授業科目の成績評価を点数化し、全授業科目の合計点の平均を算出する。 （1 0 0 点満点で点数化）G P Aは次のようにして算出しています。</p> $G P A = \frac{\text{（授業科目のG P} \times \text{授業時数）の合計}}{\text{全課程の修了に必要な全授業科目の授業時数の合計}}$							可否区分	評 価	評価点	G P	合格	秀	1 0 0 点～9 0 点	4 . 0	優	8 9 点～8 0 点	3 . 0	良	7 9 点～7 0 点	2 . 0	可	6 9 点～6 0 点	1 . 0	不合格	不可	5 9 点以下	0 . 0
可否区分	評 価	評価点	G P																								
合格	秀	1 0 0 点～9 0 点	4 . 0																								
	優	8 9 点～8 0 点	3 . 0																								
	良	7 9 点～7 0 点	2 . 0																								
	可	6 9 点～6 0 点	1 . 0																								
不合格	不可	5 9 点以下	0 . 0																								

卒業・進級の認定基準
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校服飾専門課程を卒業するための要件（ディプロマ・ポリシー）は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、アパレルデザイン学科の所定の修業年限を満たし修行に必要な総時間数に加え、卒業研究に合格することを卒業の要件とします。 2. サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程アパレルデザイン学科を置き、設立者長谷川安津子建学の理念を体し特殊技能に必要な能力を育成します。具体的には、ファッション分野における専門家等を輩出することを目的とし、次に掲げる能力を習得した者に、専門士を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 専攻する学科における専門的技術・知識 ② ファッション分野の専門家に必要な基礎知識や理論 ③ 地域社会で活動するために必要な能力 ④ 地域社会で活動するためのコミュニケーション能力
学修支援等
(概要) クラス担任により個人面談・保護者との3者面談を行う

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (%)	1人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) (株)サンミシェルトキワ、(有)ファッション工房黒石、アパレル業界			
(就職指導内容) 就職対策（一般教育科目）で年間を通して、個別指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士																							
家政関係		服飾専門課程	和裁士学科	○																								
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類																								
				講義	演習	実習	実験	実技																				
3年	昼	3150 単位時間		930 単位時間	— 単位時間	2220 単位時間	— 単位時間	— 単位時間																				
				単位時間/単位																								
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
30人		0人	0人	2人	1人	3人																						
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																												
<p>（概要）授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教師が毎年2月頃作成し、予め選定された確認者が各科目のシラバスを3月頃チェックし、問題なければ校長の「承認」。指摘事項が発生した場合は、「差し戻し」となります。（シラバスの第三者チェック） ・授業の内容（授業の概要） ・授業の方法（講義・実習の別） ・授業のねらい ・目標 ・年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール） ・予習・復習の内容 ・フィードバックの方法 ・成績評価の方法・基準 ・教科書及び参考文献 ・オフィスアワー（出来るだけ曜日・時間帯・場所など） 実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨記載 ・備考（授業の注意点） ・科目ごとのシラバスは、ホームページ（毎年4月より）に公開。 																												
成績評価の基準・方法																												
<p>（概要）</p> <p>本校服飾専門過程の履修科目のシラバスに定める成績評価に与えられるG Pは、次表の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可否区分</th> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>秀</td> <td>100点～90点</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>優</td> <td>89点～80点</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>79点～70点</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>69点～60点</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>不可</td> <td>59点以下</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>（G P Aの算出方法）</p> <p>授業科目の成績評価を点数化し、全授業科目の合計点の平均を算出する。 （100点満点で点数化）G P Aは次のようにして算出しています。</p> $G P A = \frac{(\text{授業科目のG P} \times \text{授業時数})\text{の合計}}{\text{全課程の修了に必要な全授業科目の授業時数の合計}}$								可否区分	評価	評価点	G P	合格	秀	100点～90点	4.0	優	89点～80点	3.0	良	79点～70点	2.0	可	69点～60点	1.0	不合格	不可	59点以下	0.0
可否区分	評価	評価点	G P																									
合格	秀	100点～90点	4.0																									
	優	89点～80点	3.0																									
	良	79点～70点	2.0																									
	可	69点～60点	1.0																									
不合格	不可	59点以下	0.0																									
卒業・進級の認定基準																												

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校服飾専門課程を卒業するための要件（ディプロマ・ポリシー）は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程では、和裁士学科の所定の修業年限を満了し修行に必要な総時間数に加え、卒業研究に合格することを卒業の要件とします。 サンモードスクールオブデザイン服飾専門課程和裁士学科を置き、設立者長谷川安津子建学の理念を体し特殊技能に必要な能力を育成します。具体的には、ファッション分野における専門家等を輩出することを目的とし、次に掲げる能力を習得した者に、専門士を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 専攻する学科における専門的技術・知識 ② ファッション分野の専門家に必要な基礎知識や理論 ③ 地域社会で活動するために必要な能力 ④ 地域社会で活動するためのコミュニケーション能力 			
学修支援等			
(概要) クラス担任により個人面談・保護者との3者面談を行う			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策（一般教育科目）で年間を通して、個別指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
0人	0人	0%	
(中途退学の主な理由)			
(中退防止・中退者支援のための取組)			

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スタイリスト学科	100,000 円	420,000 円	150,000 円	その他は施設費
アパレル工学科	100,000 円	420,000 円	150,000 円	その他は施設費
アパレルデザイン学科	100,000 円	420,000 円	150,000 円	その他は施設費
和裁士学科	100,000 円	420,000 円	150,000 円	その他は施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室に「自己評価結果報告書」を備え付けて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会は、「学校運営」「教育課程・学習指導」「自己評価結果」のチェックを行う。学校運営に活用する。 令和6年3月に学校関係者評価委員会を開催する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
会社員	令和6年3月18日～令和10年3月17日	同窓会
会社役員	令和6年3月18日～令和10年3月17日	業界関係者
団体役員	令和6年3月18日～令和10年3月17日	教育に関し知見を有する者
会社役員	令和6年3月18日～令和10年3月17日	その他の教育に関する有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室に「学校関係者評価結果報告書」を備え付けて公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://smsd.ac.jp
